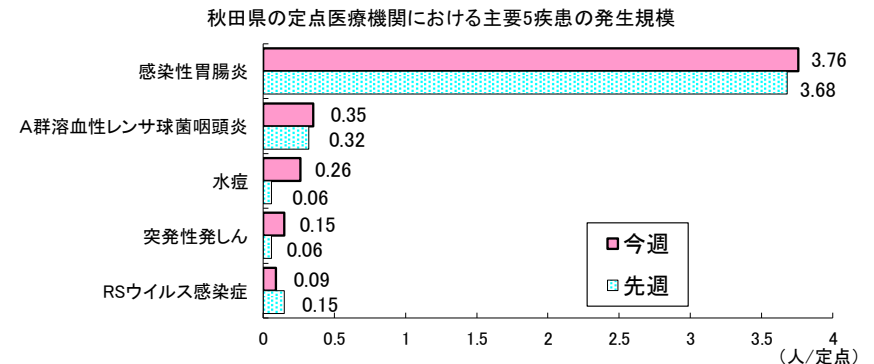




【第7週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で同規模です。保健所別では、大館、北秋田、能代、大仙で増加、湯沢で同規模、秋田市、秋田中央、由利本荘、横手で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で同規模です。保健所別では、秋田市、大館、大仙で増加、北秋田、秋田中央で同規模、由利本荘で減少しています。
3. 水痘は、県全体で4.3倍に増加しています。保健所別では、大館、由利本荘、横手で増加、大仙で減少しています。



発生報告

< 5類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第6週	第7週	増減	第6週	第7週	増減	第6週	第7週	増減	第6週	第7週	増減	第6週	第7週	増減	第6週	第7週	増減	第6週	第7週	増減	第6週	第7週	増減	第6週	第7週	増減			
RSウイルス感染症	0.15	0.09	↘	0.57	0.14	↘									0.25	↗														
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.06	0.09	↗		0.14	↗	0.50	0.25	↘														0.25	↗						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.32	0.35	↗		0.14	↗	0.50	0.75	↗	0.50	0.50								1.25	1.25		0.50		↘	0.25	0.50	↗			
感染性胃腸炎	3.68	3.76	↗	6.86	4.71	↘	0.25	1.00	↗	0.50	3.50	↗	5.00	9.67	↗	2.75	1.75	↘	8.25	5.50	↘	1.75	5.00	↗	1.00		↘	2.00	2.00	
水痘	0.06	0.26	↗				0.25	1.00	↗													1.00	↗	0.25		↘		0.33	↗	
手足口病																														
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.06	0.15	↗		0.14	↗					0.50	↗	0.33		↘								0.25	↗	0.33	0.33			0.33	↗
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎	0.03		↘	0.14		↘																								
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数があったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が能代保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から731人、大館保健所管内から110人、北秋田保健所管内から3人、能代保健所管内から68人、秋田中央保健所管内から154人、由利本荘保健所管内から80人、大仙保健所管内から103人、横手保健所管内から70人、湯沢保健所管内から47人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-6週		7週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
二類	結核	1334	4	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
三類	細菌性赤痢			
	腸管出血性大腸菌感染症	91	1	
	腸チフス			
	パラチフス			
四類	E型肝炎	48		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	8		
	エキノコックス症	1		
	黄熱			
	オウム病			
	オムスク出血熱			
	回帰熱	2		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	2		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-6週		7週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	39		
	デング熱			
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	4		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症			
	マラリア			
	野兔病			
	ライム病	2		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	128	2	
レプトスピラ症				
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	57		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	18		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	131	1	1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	1		
	急性脳炎	31		
	クリプトスポリジウム症			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	22		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	81		
	後天性免疫不全症候群	90		
	ジアルジア症	1		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	21		
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1		
	侵襲性肺炎球菌感染症	130	1	
	水痘(入院例に限る)	23	1	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	938	1	
	播種性クリプトコックス症	16		
	破傷風	5		
	パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	9		
百日咳	59	2		
風しん				
麻しん	1			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1			
* 新型コロナウイルス感染症		4818	1366	

* 新型インフルエンザ等感染症

トピック

<3月1日~7日は子ども予防接種週間です>

「子ども予防接種週間」は、入園・入学を控えたこの時期に、保護者を始めとした地域住民の予防接種に対する関心を高め、予防接種率の向上を図ることを目的として、日本医師会・日本小児科医会・厚生労働省が主催しています。小児をVPD(ワクチンで防げる病気)から守るには適期に予防接種を受けることが重要です(表)。3月は入園・入学等の準備で忙しい時期ですが、新しい集団生活を始めるにあたり、準備の1つとして予防接種の確認を忘れずをお願いします。

表 小児をVPD(ワクチンで防げる病気)から守るための予防接種

	ワクチン名	接種年齢・対象期間
定期	B型肝炎(母子感染予防を除く)	1歳未満
	ロタウイルス	生後6週以上32週0日まで(初回接種は生後6週以上15週未満)
	ヒブ(インフルエンザ菌b型)	生後2ヶ月以上5歳未満
	小児用肺炎球菌	生後2ヶ月以上5歳未満
	四種混合(DPT-IPV) 三種混合(DPT)・ポリオ(IPV) DPT:ジフテリア・百日咳・破傷風混合	生後3ヶ月以上7歳6ヶ月未満 二種(DT:ジフテリア・破傷風混合)追加接種:11歳以上13歳未満
	BCG	1歳未満
	MR(麻しん・風しん混合)	1期:1歳以上2歳未満 2期:5歳以上7歳未満であって小学校入学年度前の1年間(4/1~3/31)
	水痘(みずぼうそう)	1歳以上3歳未満
	日本脳炎	1期:生後6ヶ月以上7歳6ヶ月未満 2期:9歳以上13歳未満
	HPV(ヒトパピローマウイルス)	小学6年生から高校1年生相当までの女子 半年から1年の間に3回接種
任意	おたふくかぜ	1歳以上(1歳以上1歳4ヶ月未満を推奨)
	インフルエンザ	毎年10月以降接種可能(13歳以上は1回、13歳未満は2回接種を推奨)
	髄膜炎菌	2歳から接種可能



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	大館(1.00)、由利本荘(1.00)	-

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		